

南城市商工会

地域経済動向調査レポート

【調査期間：令和4年1月～令和4年6月】

I、調査概要

【調査対象】市内小規模事業者

【調査方法】調査票によるアンケート形式

【調査期間】令和4年1月～6月（6か月間）

【回答件数】40件

【回答事業者の業種内訳】

業種	数	法人	個人
製造業	10	1社	9事業者
小売業	10	1社	9事業者
建設業	10	2社	8事業者
サービス業	10	2社	8事業者
計	40	6社	34事業者

II、調査結果

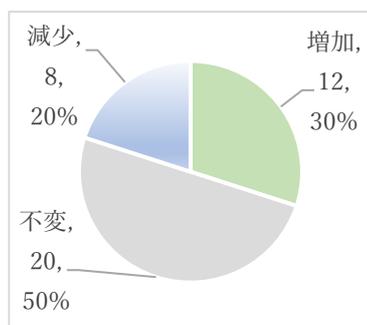
質問：今年度上半期の貴社の状況は、前年度上半期および前年度下半期と比較してどうですか。
また、来年度同期の見通しは、今年度上半期と比較してどうですか。

【今年度の状況】

① 前年度同期に比べて

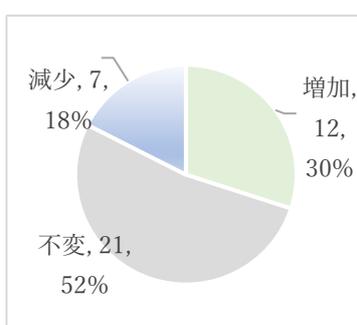
(R3年1月～R3年6月)

1、売上（加工・請負工事）額



② 前期に比べて

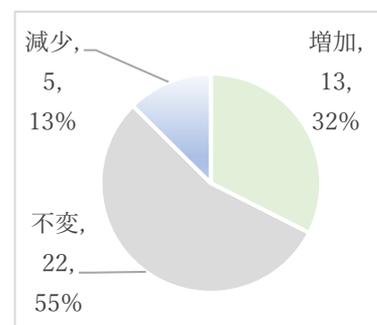
(R3年7月～R3年12月)



【来年度同期の見通し】

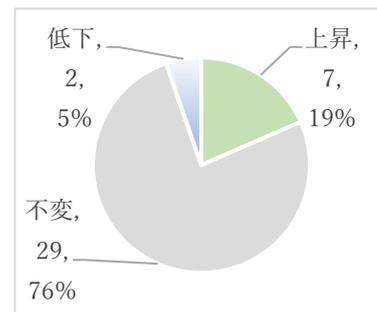
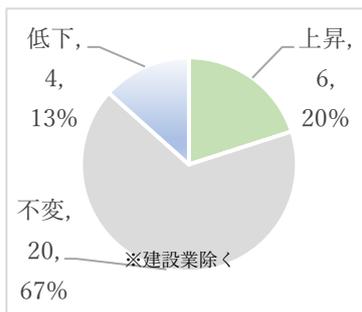
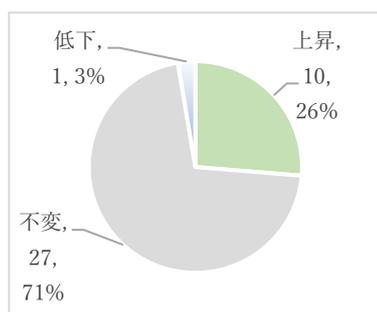
③ 今年度上半期と比べた来期の見通し

(R5年1月～R5年6月)



不変の回答・見込みが半数はあるが、3割程度は増加との回答・見込みがある。

2、客（加工・受注）単価



1の売上額と比べ、不変の回答・見込みが7割あり、2割弱は増加との回答・見込みがあり、低下は僅かである。

【今年度の状況】

【来年度同期の見通し】

① 前年度同期に比べて

②前期に比べて

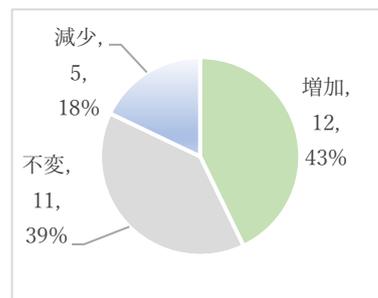
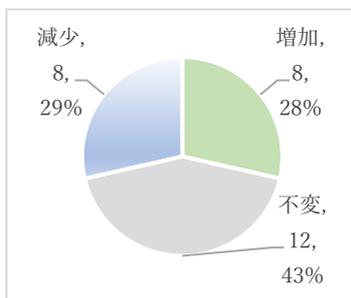
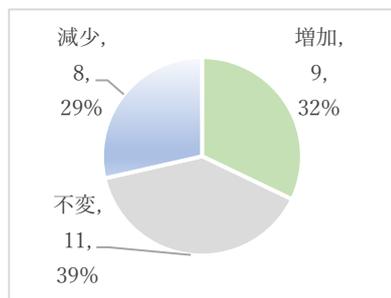
③今年度上半期と比べた来期の見通し

(R3年1月～R3年6月)

(R3年7月～R3年12月)

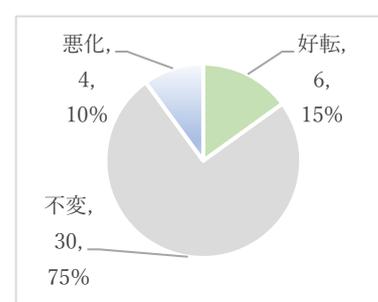
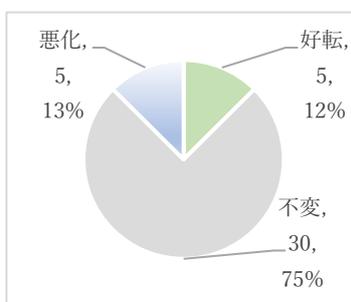
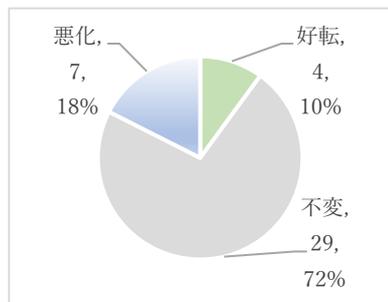
(R5年1月～R5年6月)

3、売上（利用）数 ※回答は建設業除く



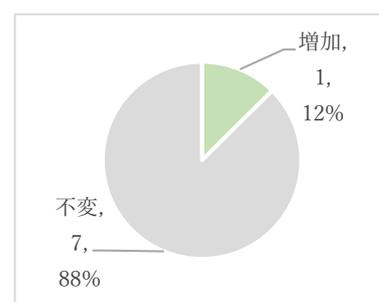
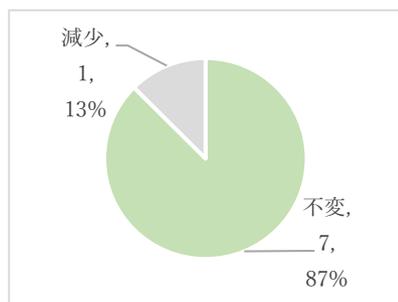
不変・増加との回答・見込みを合わせると7割程となり、売上（利用）数の上昇はゆるやかになりつつあると窺える。

4、資金繰り



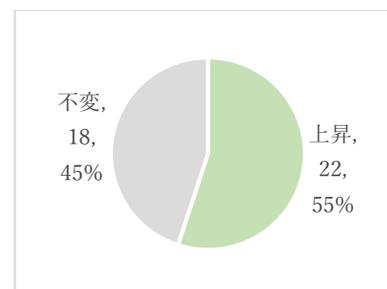
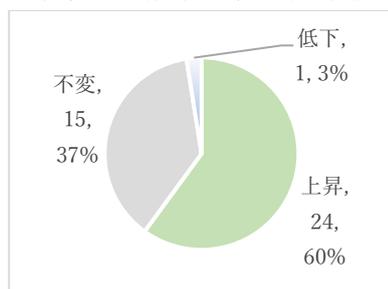
不変の回答が多いが、悪化の回答も一定数窺え、債務超過となるケースが微増していると窺える。

5、輸出額 ※回答は製造業のみ



非該当の答えが多く、今回の回答事業所は海外への輸出を行っていないことが予測される。

6、仕入（材料・商品）単価



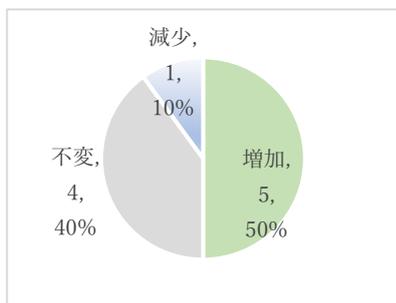
今年度上昇した、来年度も上昇すると回答・見込んでいる事業所が半数を超える。

【今年度の状況】

① 前年度同期に比べて

(R3年1月～R3年6月)

7、商品仕入れ額 ※回答は小売業のみ



【来年度同期の見通し】

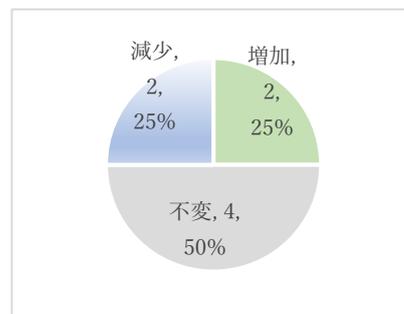
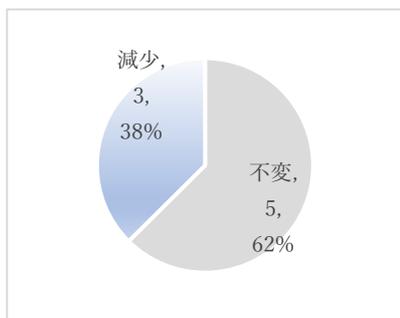
③今年度上半期と比べた来期の見通し

(R5年1月～R5年6月)



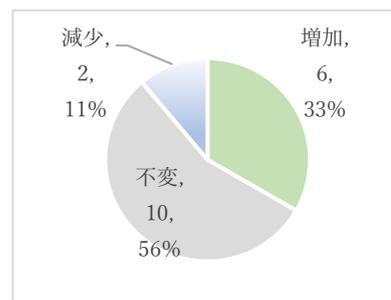
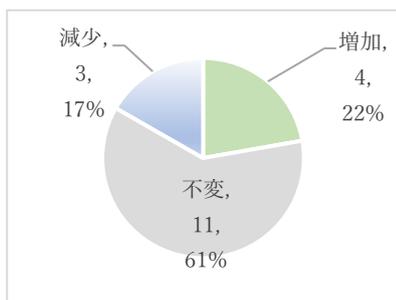
増加との回答は今期5割に達し、来期も引き続き増加する見込んでいる事業者が7割となっている。

8、原材料在庫数量 ※回答は製造業のみ



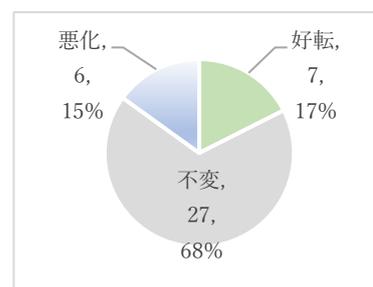
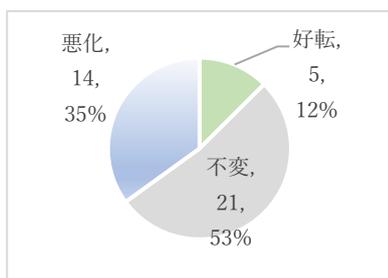
不変との回答が半数程で在庫状況に大きな変動は見られない。

9、製品（商品）在庫数量 ※回答は製造業・小売のみ



売上の増加に伴い製品（商品）在庫数量も増加の見込みが微増。生産量や販売数が増えているのが窺える。

10、採算（経常利益）



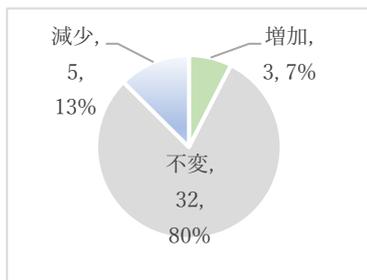
悪化から不変に回答が移行していると考えられ、売上増加が採算に繋がっていないことが予測される。

【今年度の状況】

① 前年度同期に比べて

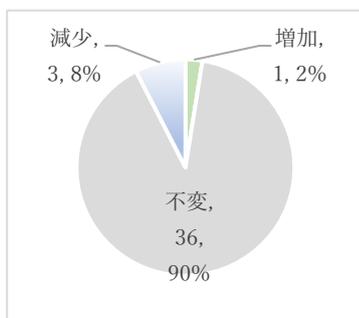
(R3年1月～R3年6月)

1 1、従業員 (含臨時・パート)



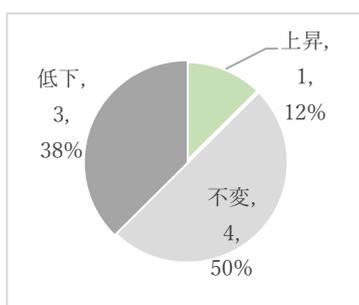
従業員は不変との回答が8割で今後も増減の見込みは低い。

1 2、外部人材(請負・派遣)



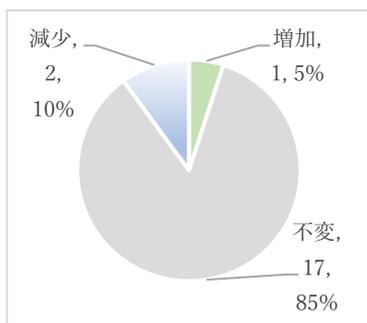
外部人材はあまり利用していないことが窺える。

1 3、設備操業率 ※回答は建設業のみ



不変の回答が5割、低下が3割で、上昇の見込みも低い回答になっている。

1 4、引き合い ※回答は製造業・建設業のみ

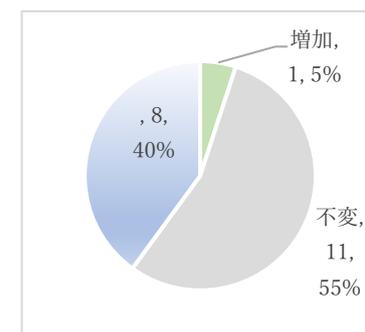
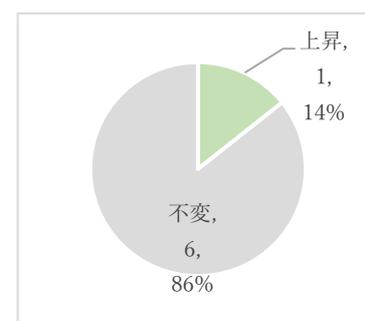
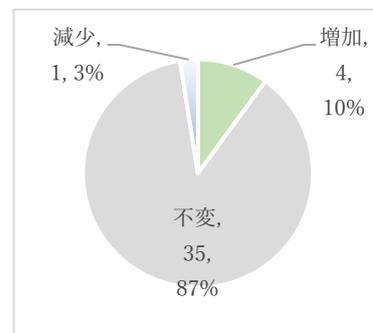
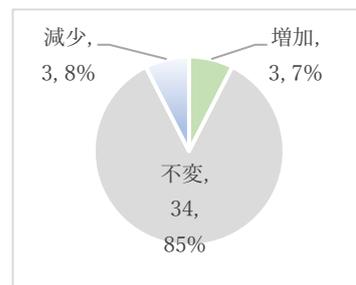


8割超が不変との回答で、来期は減少が4割に達する見込み。

【来年度同期の見通し】

③今年度上半期と比べた来期の見通し

(R5年1月～R5年6月)



【今年度の状況】

【来年度同期の見通し】

① 前年度同期に比べて

②前期に比べて

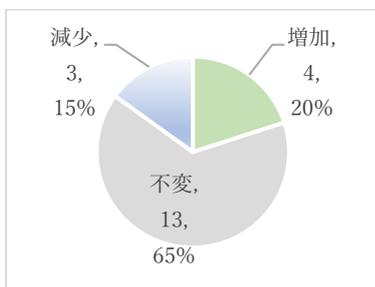
③今年度上半期と比べた来期の見通し

(R3年1月～R3年6月)

(R3年7月～R3年12月)

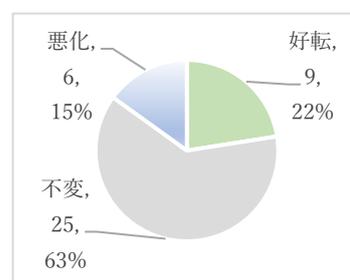
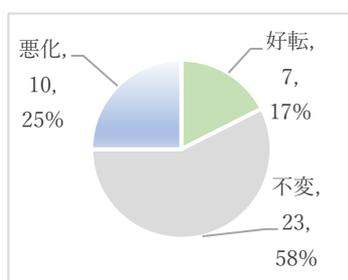
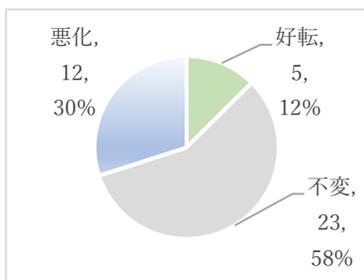
(R5年1月～R5年6月)

15、受注（契約）残 ※回答は製造業・建設業のみ



若干の増加が見られたものの、不変との回答がほとんどだった。

16、業況（自社）



業況が悪化したと回答した事業者が3割まで増加し、多くは来期も業況は厳しいものと考えている。

【今年度の状況】

【来年度同期の見通し】

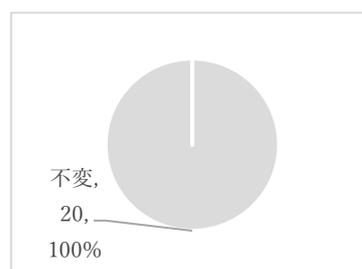
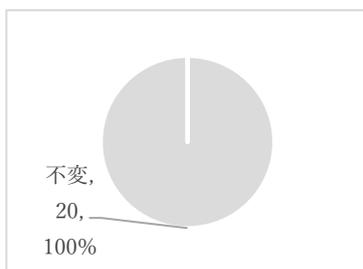
②前期に比べて

③今年度上半期と比べた来期の見通し

(R3年7月～R3年12月)

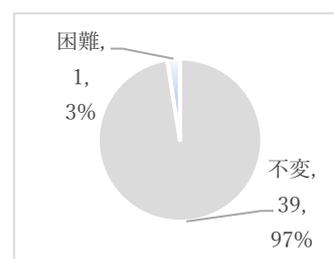
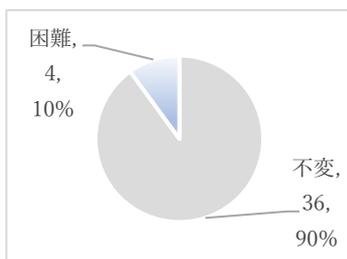
(R5年1月～R5年6月)

17、受取手形期間 ※回答は製造業・建設業のみ



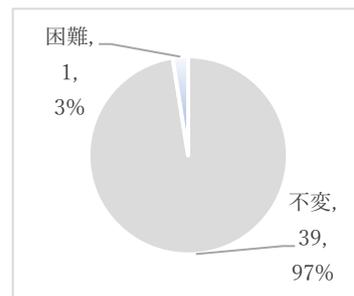
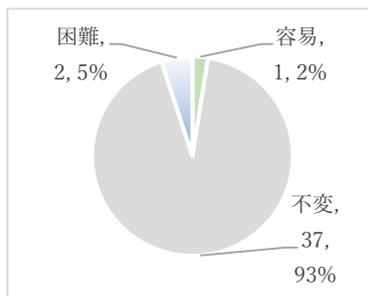
受取手形期間は回答無し／現在取引手段として手形取引が多くないことが窺える。

18、長期資金借入難度



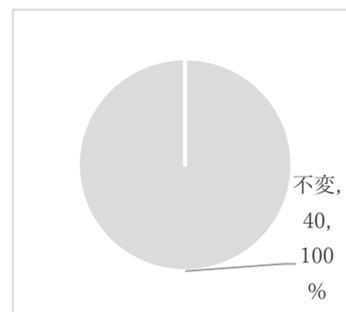
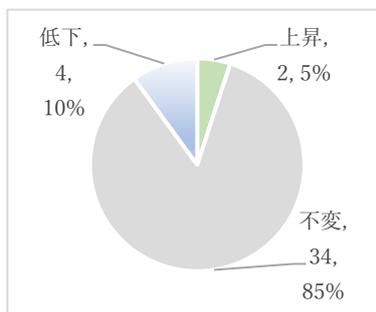
長期資金借入難度は9割が不変と回答し、来年度もほぼ同じ割合だった。

19、短期資金借入難度（含手形割引）



短期資金借入難度は9割が不変と回答し、来年度もほぼ同じ割合だった。

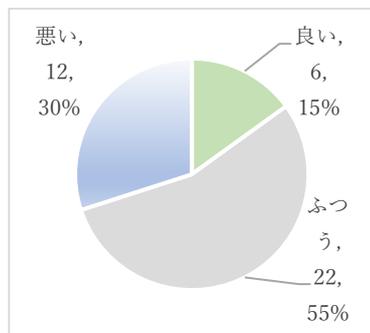
20、借入金利



借入金利に関し上昇と答えたのはどちらも2社のみで、不変との回答が大半を占めた。

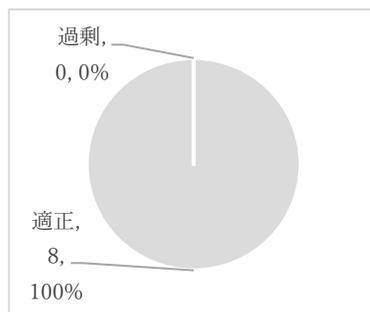
21、業況

今期の水準（R4年1月～R4年6月）



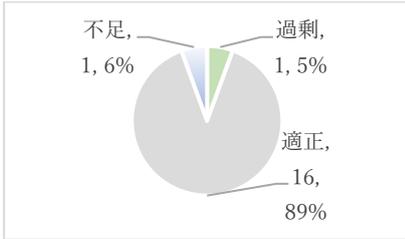
業況は悪いと回答した事業者が1割未満から3割に増加し、景気の好転に陰りが見えていると推測できる。

22、生産に対する原材料在庫 ※回答は製造業のみ



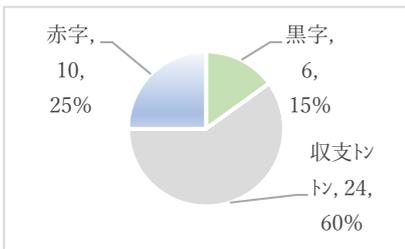
生産に対する原材料在庫は適正。

23、売上に対する製品在庫 ※回答は製造業・小売のみ



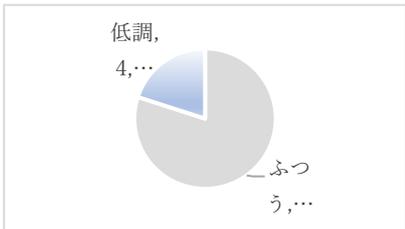
売りに対する製品在庫に関しては不足や過剰と回答したのがわずか2社で概ね適正だといえる。

24、採算（経常利益）



採算（経常利益）において赤字の回答は15ポイント上昇し、収支トントンと黒字が若干減少している。

25、引き合い ※回答は製造業・建設業のみ



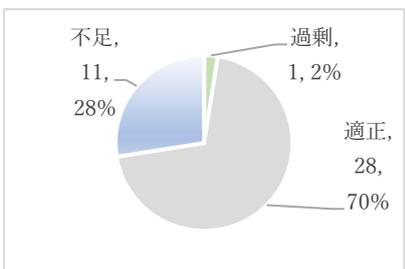
引き合いについては低調と答えた事業者が若干増加し、製造業・建設業がおおむね横ばいであることが窺える。

26、生産設備 ※回答は製造業のみ



生産設備においては全社が適正であると回答した。

27、従業員（含臨時・パート）

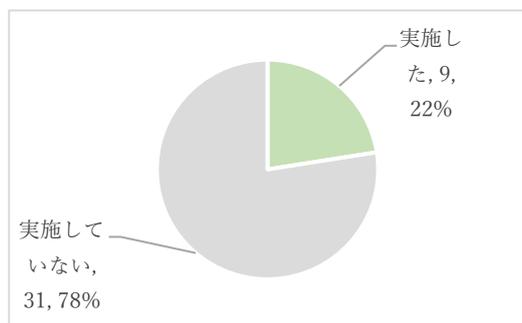


従業員は適正との回答が過半数で、不足しているとの回答が減少。過剰と回答したのは1社のみだった。

質問：今年度上半期および今年度下半期の新規設備投資は、どのような状況ですか。

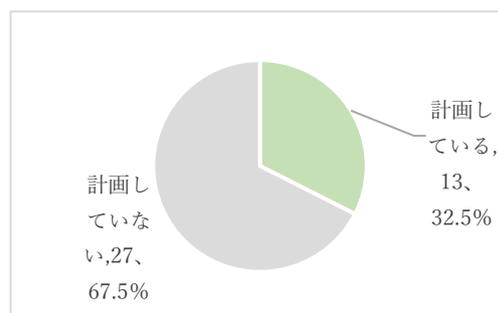
I. 今年度上半期（R4年1月～R4年6月期）

設備投資を



II. 今年度下半期（R4年7月～R4年12月期）

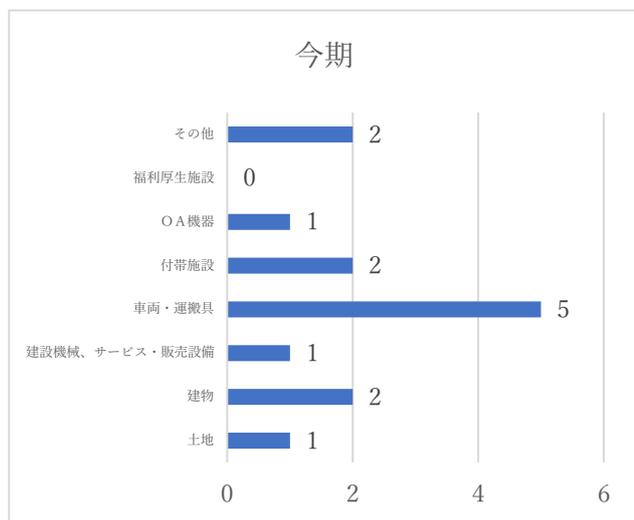
設備投資を



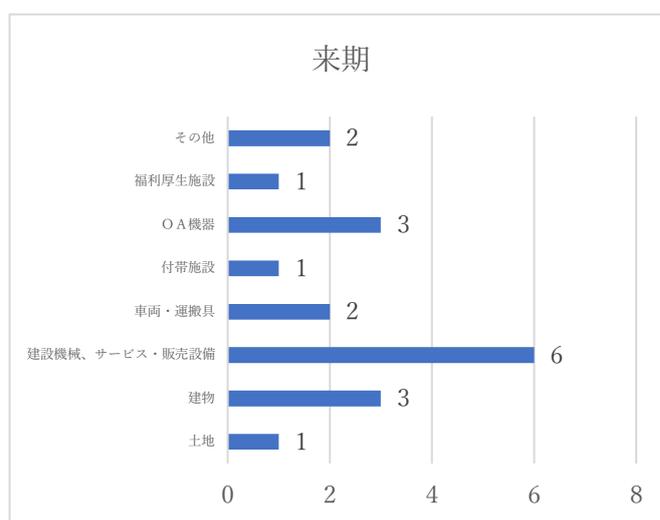
どちらも実施（計画）しないの割合が多い。

質問：新規設備投資がある場合、どのような投資内容ですか。

今期の実施内容



来期の計画内容



車両・運搬具等が主であり、他の設備投資を抑えていることから必要最低限なものだけの投資に踏みとどまっている。

質問：今年度上半期に直面している経営上の問題点を3つ以内選んで、重要度の高い順に該当する番号を回答欄にご記入ください。

【建設業】

- 1位：材料価格の上昇（4票）
- 2位：従業員の確保難（3票）
- 3位：材料費・人件費以外の経費の増加（2票）

【製造業】

- 1位：原材料価格の上昇（5票）
- 2位：製品ニーズの変化への対応、需要の停滞（各4票）
- 3位：原材料の不足、取引条件の悪化（各3票）
- 4位：生産設備の不足・老朽化（2票）

【サービス業】

- 1位：材料等仕入単価の上昇（7票）
- 2位：利用料金の低下・上昇難（3票）
- 3位：利用者ニーズの変化への対応、人件費の増加、従業員の確保難、
熟練技術者の確保難、需要の停滞（各2票）

【小売】

- 1位：消費者ニーズの変化への対応、仕入れ単価の上昇（各4票）
- 2位：従業員の確保難（3票）
- 3位：同業者の進出、店舗の狭隘・老朽化、駐車場の確保難、
人件費以外の経費の増加、その他（各2票）

4業種共通して挙げている課題が原材料価格の上昇、原材料等仕入れ単価の上昇となっている。

質問：業況の背景について、貴社が感じておられることを100文字程度でご記入ください。

【製造業】

新しいことにチャレンジして自力で現状を打開していけないと思っている。
観光客が減っているので事業形態を変え、地元のお客を増やすように変えていきたい。
コロナ前に戻りつつあるが、材料費の高騰や半導体不足の影響による材料不足が悪影響を及ぼしている
材料の高騰が仕入れに与えるダメージが大きいが、価格を上げるのが苦しい。

【サービス業】

コロナで客足が減ったのは大変だった。保障などでサポートしてもらい、今年から順調になってきたが
約3年間のダメージを回復させるのに労力が必要で時間が足りない。

【小売業】

コロナの影響が大きく、サービス業は客足が急減している。
原材料の上昇によるコスト増加が続いておりまだ厳しい状況が続くと予想される。
コロナでの自粛がなくなってきて客数も増えてきているように感じている。